

HISAYAMA TOWN

久山町



誰もが暮らしの豊かさを実感できるまちへ

このたびの久山町長選挙では、無投票当選という形で、再び町民の皆さまの信任をいただき、2期目の町政運営を行うこととなりました。

「行動力で未来をひらく」をスローガンに掲げ、1期目の職責を務めることができましたのも、ひとえに町民の皆さまの温かいご支援のおかげであり、心から感謝申し上げます。

1期目では、新型コロナウイルス感染予防や物価高騰対策に迅速に対応しながら、学校施設の大規模改修など長年の懸案事項に着手しました。また、小中学校での「プログラミング教育」や「てらこや+」の開講、シニア世代の外出支援「シニアチャレンジ応援事業」、子育て世代が集える「遊具がある公園づくり」など新たな事業にも積極的に取り組みました。財政面では、財政調整基金や教育振興基金を毎年積み立て、ふるさと応援寄附金を令和2年度から2.48倍に増やすことができました。

人口が増加し、合計特殊出生率も上昇している久山町は、今、持続性の高い、元気な町として全国から注目されています。しかし、成長を続けている状況下だからこそ、これまで培ってきた地域資源や先人たちの思いを大切にしながら、未来に向けた「投資」と「変化」をどのように

行うかが重要となります。

町民の皆さまに「久山町で暮らす豊かさ」をさらに実感していただきながら、将来に向けた社会課題の解決にも取り組んでいくまちづくりが、さらに「持続性」を高め、未来につながる「財産」になります。

その実現に向け、これからも、幅広い世代が安全・安心に暮らせるサービスの強化を図り、時代の変化に対応した事業等を展開します。また、計画的な土地利用を図りながら、農・林業の維持に向けた「久山型循環経済」の構築に力を入れ、「地産地消」だけでなく、町内の「食育、環境教育」にもつながっていきます。

最後に、1期目を通じて、改めて久山町の魅力やポテンシャルの高さを認識するとともに、それが形になりつつあることに、将来への希望を感じました。次の4年間も皆さまのWell-being(幸福度)の向上を目指して、さまざまな取り組みに挑戦し、皆さまがもっと「笑顔」で「元氣」に「夢」を語れる久山町となるようこれまで以上に尽力してまいります。引き続き、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。2期目の就任のごあいさつとさせていただきます。

久山町長 西村 勝